

ご あ い さ つ



岐阜県立恵那特別支援学校長 佐藤 秀樹



岐阜県立恵那特別支援学校のホームページをご覧ください、ありがとうございます。

当校は昭和31年に恵那市立大井小学校の養護学級として認可され、病弱教育を原点とする歴史と伝統を受け継ぎながら発展し、今年度で60年目を迎えます。平成22年4月に、大井町から歴史と伝統が息づく現在の岩村町に一括移転し、病弱、肢体不自由、知的障がいのある児童生徒を対象とする総合的な特別支援学校として生まれ変わりました。今年度で7年目を迎え、最も病弱児童生徒の割合が高い総合型の特別支援学校として、様々な障がい種の児童生徒が同じ学校で活動しながら様々な個性を活かしあっています。

創立60年という節目の年を迎え、これまで当校にはなかった校訓を制定しました。

校 訓 健(すこやかに) いたわり合い、励まし合い、学び輝く

校訓の始まりの「健(すこやかに)」には、全ての児童生徒の健やかな成長への願いを込めました。「いたわり合い」「励まし合い」「学び」「輝く」の言葉は、いずれも校歌から採用しました。校歌には学校創立時の理念や願いが込められ、児童生徒も行事等様々な機会に歌うことが多いため、馴染みがあり親しみをもっています。

そして、校訓の結びを「学び輝く」とすることで、「児童生徒一人一人が輝く」教育を目指す教育目標の実現と、児童生徒が校内だけでなく地域の様々な人々と互いに支え合い、励まし合い、共に学び合う中で、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、障がいのある人もない人も、共に生きる社会(共生社会)の一員として、一人一人が輝く存在になってもらいたいという願いを込めました。

平成28年度は、「健(すこやかに)いたわり合い、励まし合い、学び輝く」の校訓のもと、一人一人の児童生徒が仲間や地域の方々と共に、これまでの伝統やつながりを大切にしながら、新しいことに挑戦していく年にしていきたいと思っています。

なお、このホームページには、恵那特別支援学校の概要や学校行事、進路状況、学校評価、作業学習作品・製品の紹介等、多くの情報を掲載しています。当校についてご理解を深めていただくとともに、その魅力も知っていただけると幸いです。

子どもたちは、地域の皆様の春風のような温かさに包まれながら、自己実現への道を一步一步と進んでおりますので、皆様の一層のご支援とご理解をよろしくお願いいたします。

【平成28年4月】